



資料提供年月日	令和4年2月10日	
問い合わせ先	課名	観光振興課
	電話	直通 803-1332 内線 4532
担当者	職名・氏名	課長 熊代 課長補佐 竹内

広 報 連 絡

<市長記者会見資料>

- 1 件 名 新・岡山城のリニューアルオープンについて
- 2 内 容 現在、大規模改修中の岡山城は、令和4年11月3日（木）にリニューアルオープンします。

※今年、宇喜多直家が1573年（天正元年）、岡山城の前身、石山城に居城を構え、まちづくりをはじめて450年目となります。

※このような節目の年に岡山城がリニューアルオープンしますが、オープン日については、もう一つの節目の日である昭和41年の岡山城再建日と同じ11月3日（木）とすることといたしました。

新・岡山城 令和4年11月3日OPEN

令和4年2月10日
産業観光局観光部観光振興課

宇喜多直家にはじまり、池田光政が極めた岡山のまちづくり
その中心には岡山城がありました

現在、令和の大改修中の岡山城は、**宇喜多直家がまちづくりをはじめて450年目の今年**
再建日である11月3日にリニューアルオープンします
市民の誇りとなり、親しまれる城を目指します

宇喜多直家

池田光政



おふく
(写真所蔵 光珍寺)

平野が広がり旭川が貫く岡山の地に着目、城を築き、備前福岡の商人達とともに城下町づくりをはじめ

子 秀家



豪姫

直家の想いを受け継ぎ、城下町繁栄の象徴となる天守をもった岡山城をつくる



勝姫
(林原美術館 蔵)

大洪水の教訓から百間川による治水、医療福祉、教育など、今の岡山につながるものを多くととのえる

子 綱政



千子
(林原美術館 蔵)

光政の想いを受け継ぎ、岡山後楽園の築庭、干拓による新田開発を行う

宇喜多、小早川、池田と発展した
城下町は今の中心市街地へ

天正元年
(1573年)

宇喜多直家
岡山開府
子 秀家
岡山城築城

関ヶ原合戦

小早川秀秋
入城

池田家入城

池田光政

子 綱政
後楽園築庭

昭和41年
(1966年)

昭和の再建

平成9年
(1997年)

平成の改修

令和4年
(2022年)

令和の大改修



新・岡山城 令和4年11月3日OPEN

令和4年2月10日
産業観光局観光部観光振興課

新しくなる岡山城は「歴史を伝える城、集う城」をテーマに
岡山の歴史を初心者にとっても分かりやすく発信、岡山城ならではの体験を提供していきます

「歴史を伝える城」

岡山市出身の歴史家・磯田道史氏監修
天守閣の展示を全面リニューアル

キーワード 「ひと」と「まち」

コンセプト 岡山の歴史の入口・拠点

ポイント

- ・歴史を「ストーリー」で伝える
- ・歴史を「映像」で伝える
- ・歴史を「体験」で伝える



「集う城」

イベントや夜間貸切など改修後の岡山城を舞台に
岡山城ならではの体験を提供

● 新しくなった天守閣をパーティーや懇親会などに
夜間貸出（利用面積2倍以上、映像演出も）



<展示イメージ>

B1F
岡山城
の魅力



6F
華頭窓と
眺望を再現



5F
岡山のまち
の成り立ち



4F
宇喜多父子
の物語



3F
関ヶ原合戦
と岡山



2F
池田家と
文化財



1F
体験展示と
多目的フロア



● 多彩なイベントを積極的に実施



● 市民憩いの公園として利用促進

ex. ウォーキング、太極拳、ヨガなど